

平成 24 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	デジタルデザイン	担当教員	今田太郎		
学年学科	3年 建築学科	開講時間数	後期 2 時間	必修	1 単位
学習・教育目標	(D-2) 17%、(E) 83%				
授業の目標と期待される効果： 近年の情報化社会の中、コンピュータを中心とした情報処理は建築においても非常に重要となっている。本教科の前期では建築に関わる技術計算に加え、CAD 関連の計算基礎とコンピュータに関する基礎的な知識を学修する。後期では建築設計製図 I とリンクしながら、CAD を用いた製図表現を修得することを目標とする。 (1)Vector Works による製図技術 (2)3次元CADによる図面作成技術 (3)3DCGによるモデリング技術			成績評価の方法： 試験；第1課題点～第4課題まで各25点；計100点における総得点率(%)によって成績評価を行なう。 また、授業に対する姿勢も配慮し、授業の進行を妨げる行為・消極的な行為に対しては、得点率の1～10%を減じた値で評価する 具体的には、出席簿に記載した注意の回数と減点(%)を対応させる。 達成度評価の基準： 前期は(1)～(2)を基準とし、教科書や試験問題と同レベルの問題で出題し、6割以上の正答レベルに達していること。 なお成績評価への重みは(1)50%、(2)50%とする。 (1) 3次元CADのを用いた製図技術を習得する。 (2) 3次元CADによるCGモデリング技術を習得する。		
授業の進め方とアドバイス： 授業は演習を中心に行うので、自ら積極的に取り組む姿勢が重要である。前期前半はボケコンを使用するので、準備しておくこと。授業計画を示すので予習・復習を必ず行うこと。後期では建築構法と建築製図の知識が必要なので十分復習しておくこと。					
教科書および参考書： 参考書：平成 18 年度 CAD 利用技術者試験基礎試験公式ガイドブック（日経 BP 社）					
授業の概要と予定：前期					
第1回：建築設計における CAD の活用の解説 後期の課題説明					
第2回：SketchUp を用いた 3 次元 CAD の利用技術習得 第1課題提示					
第3回：3次元CADの利用技術習得（演習1）					
第4回：3次元CADの利用技術習得（演習2）					
第5回：3次元表現と2次元表現の変換の解説					
第6回：2次元表現への変換技術習得 第1課題提出					
第7回：SketchUp による3次元作図の即日課題試験 第2課題（即日）					
第8回：VectorWorks を用いた3次元CGの利用技術習得					
第9回：3次元CGの利用技術習得（基本演習1） 第3課題提示					
第10回：3次元CGの利用技術習得（基本演習2）					
第11回：3次元CGの利用技術習得（応用演習1）					
第12回：3次元CGの利用技術習得（応用演習2） 第3課題提出					
第13回：建築空間の3次元CGによる表現（自由課題1） 第4課題提示					
第14回：建築空間の3次元CGによる表現（自由課題2）					
第15回：建築空間の3次元CGによる表現（自由課題3） 第4課題提出					
期末試験（実施しない場合がある。）					
第32回：フォローアップ（期末試験解答解説など）					